

# 北海道観光と地方創生

イランカラフテ！

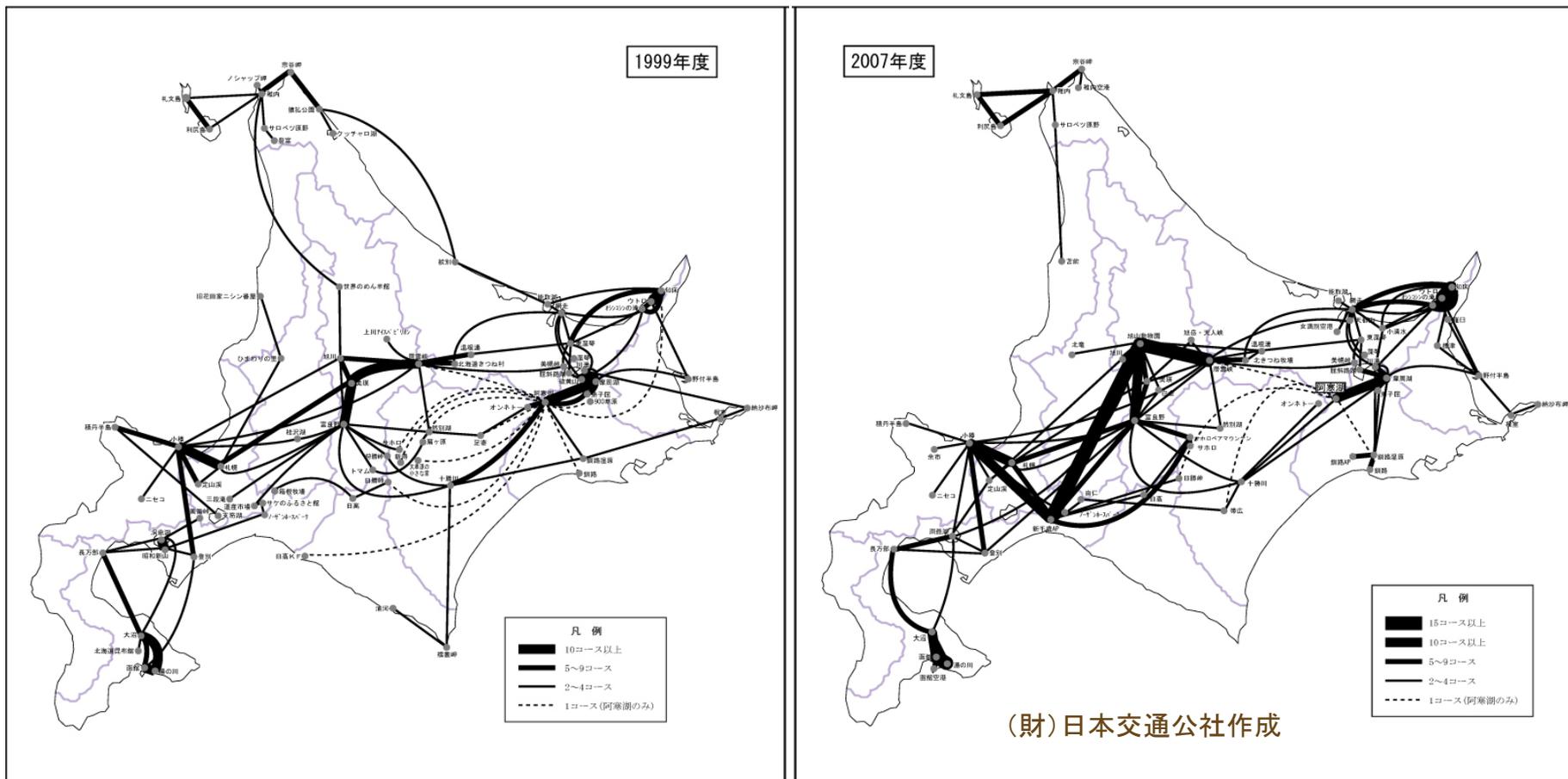
NPO 阿寒観光協会まちづくり推進機構

理事長 大西雅之

# 北海道観光の変化

団体ツアーの激減

## 旅行商品から見る北海道観光ルート

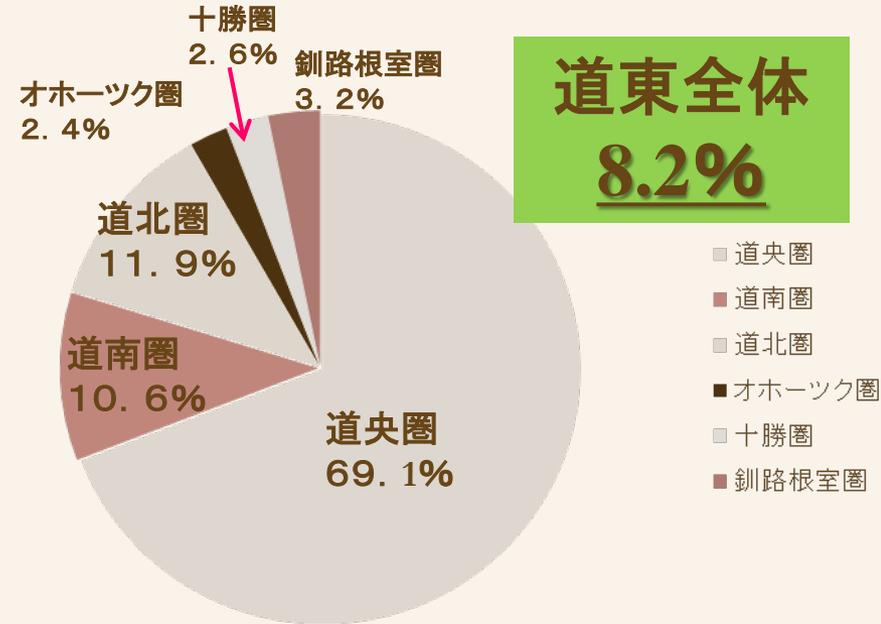
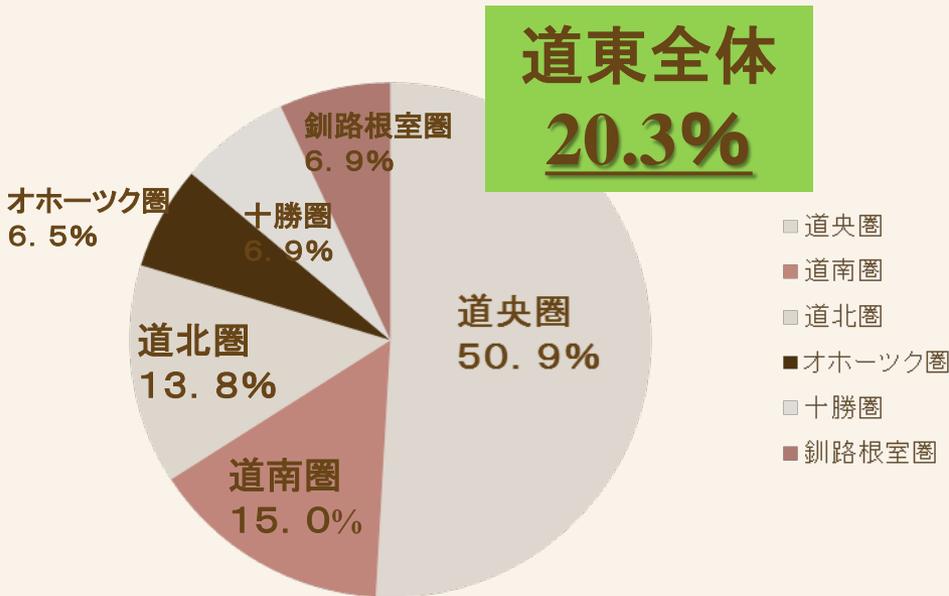


※2007年旭山動物園に集中 (商品造成が人気スポットに集中) 全道が網の目になることが望ましい

# 東西格差の拡大

## 国内観光客宿泊数

## 外国人観光客宿泊数



※ 面積では50%の道東は**集客では国内20%海外8%**にすぎない！

## 道東5空港計 8.5%



新千歳空港は、**73.9%**(H10) → **80.4%**(H26)  
 その間に各空港の旅客は、帯広空港(80%)、女満別空港(63.1%)、釧路空港(70.0%)、函館空港(58.5%)、旭川空港(87.2%)となり、航空座席数の減少をそのまま反映している。

# ■ 阿寒湖温泉を取り巻く一級の観光資源



# 阿寒ブランド強化計画

## 《アイヌ文化に彩られた国際リゾート》

### ➤ アイヌ・ブランド基地化プロジェクト



- 歴史文化ゾーン整備プロジェクト(東北海道アイヌ文化の発信基地)
  - ・アイヌシアター「**イコロ(宝物)**」→アイヌ古式舞踊(ユネスコ無形文化遺産)
  - ・アイヌアートの町(物作りの復活)
  - ・カムイ・ミンタラ(神々の遊ぶ庭)の建設

### ➤ 湖と森のブランド発信プロジェクト



- まりも再生プロジェクト
  - ・「まりも生息環境圏」を**ユネスコ世界遺産**登録に向かって
- 異国の森・アウトドア基地化プロジェクト
  - ・ネイチャーガイドの養成／着地型旅行業

### ➤ 阿寒DMO：地域一体型リゾート推進プロジェクト



- 日本版DMOとして一体経営(湖エリア・山岳エリア・商店街)
- **IR(複合型リゾート)**推進プロジェクト
  - ・アイヌアートの自然リゾートカジノ(日本版インディアンカジノ)
- 森の駅・**フォレストガーデン**プロジェクト
  - ・8万㎡の中心ゾーン開発と**入湯新税**による安定財源確保

# ■ アイヌ文化発信 プロジェクト

## アペカムイを迎える 《 千本たいまつ行進 》

アイヌ民族の風習に従い、火の神を通じて天のカムイに、  
世界の環境保全を祈る参加型イベント

# ■ マリモ生育地 再生プロジェクト

まリモ  
自然生息地

まリモ  
絶滅エリア

かつてマリモが生育していた  
シュリコマベツ湾でマリモを復元再生。

- マイ・マリモ運動、特別保護地区以外で再生事業
- マリモの阿寒湖をユネスコ世界自然遺産へ

# 町ぐるみで、リゾートの経営(DMO)を目指す！

阿寒湖温泉

国設スキー場「ウタラ」

(アイヌ語:仲間たち)

・FIS公認国際大会(年3回)



■管理運営 阿寒湖アイヌシアター運営協議会  
■施設管理 阿寒アイヌ工芸協同組合  
■シアター窓口 TEL0154-67-2727



阿寒湖温泉  
アイヌシアター「イコロ」  
(平成24年4月オープン)

阿寒の地域活性化？

阿寒のリゾート・スタイルとは？

# ■ ひがし北海道 冬の8大まつり



- 阿寒湖温泉  
阿寒氷上フェスティバル
- 層雲峡  
層雲峡氷瀑まつり
- 網走  
北の新大陸発見！  
あったか網走
- 知床  
オーロラファンタジー
- 川湯  
ダイヤモンドダスト  
パーティー
- 十勝  
十勝川白鳥まつり
- 然別  
然別湖コタンまつり
- 紋別  
ウィンターフェスティバル

閑散期の観光客を増加させる対策は？

<p><b>川湯</b></p> <p>ダイヤモンドダストにROMANチックな一夜。</p> <p>ダイヤモンドダスト in KAWAYU 2014年12月19日～21日開催 （一社）層雲峡観光協会 ☎(015)482-2200</p>	<p><b>層雲峡</b></p> <p>氷とライトが作り出す幻想的な美しさ</p> <p>層雲峡温泉氷瀑まつり 2014年12月19日～20日 層雲峡観光協会 ☎(0155)812-1811</p>	<p><b>然別湖</b></p> <p>雪原に変化した湖面に現れる雪と水の村</p> <p>2014 しかりべつ 道コタン 2014年12月19日～21日 然別湖コタン実行委員会 ☎(0156)69-8181</p>	<p><b>十勝川</b></p> <p>雪と光のファンタジー</p> <p>とらけ川白鳥まつり 2014年12月19日～21日 十勝川白鳥まつり実行委員会 ☎(0155)32-6633</p>
<p><b>阿寒湖</b></p> <p>海神の阿寒湖が一面アイスフィードに</p> <p>阿寒湖 2014年12月19日～21日 阿寒湖観光協会 ☎(0154)87-3200</p>	<p><b>紋別</b></p> <p>光と氷と音楽が奏でるロマンティック体験</p> <p>ウィンターフェスティバル in もんべつ 2014年12月19日～21日 紋別観光協会 ☎(0156)24-3900</p>	<p><b>網走</b></p> <p>雄大な自然にのびる体験型観光</p> <p>北の新大陸発見！あったか網走 2014年12月19日～21日 北の新大陸発見！あったか網走実行委員会 ☎(0152)44-6111</p>	<p><b>知床(ウトロ)</b></p> <p>知床の夜空を彩るオーロラショー</p> <p>知床ファンタジア 2014年12月19日～21日 知床ファンタジア実行委員会 ☎(0152)22-2125</p>

# 東北海道の広域観光周遊ルート認定

do A3Aa merger  
0m



ガーデン街道 紫竹ガーデン



阿寒湖の冬 フロストフラワー

私たちは ひがし北海道として  
アジアの宝への導線となる  
ドイツロマンチック街道を創りたい...と  
一丸となって進めております!

Beyond Sapporo

その先の北海道へ

シーニックバイウエイ7地区

北海道ガーデン街道

ひがし北海道3つ星街道

富良野美瑛観光圏

水のカムイ観光圏



知床峠から望む国後島

アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北海道  
Hokkaido-Route to Asian Natural Treasures

人と自然の織りなすデザイン。  
超自然が生んだ奇跡の絶景。

この道を旅する時の醍醐味は、

めくるめく風景、大地から海の食に至るまでどこまでも続くコントラスト。

世界でここだけのプライムロード ひがし北海道。

# 北海道地方創生への提言 1

- **＜国の全体目標を各地方目標へ割り当てる＞** 交通インフラや宿泊滞在施設のキャパシティ、国内外客のバランス、および、地方振興の観点から地方別に訪日外国人客数の目標を設定する必要がある。

- **その目標に従い、地方ごとの需給ギャップを明確化する。**

- 訪日客数について国としての目標数はあるものの、地方別の目標に分解されていない。（北海道は知事が国の15%、300万人を公約→道央や道東など地方別に細分化した**具体的なロードマップ**が必要）
- 例えば、新千歳空港は約80%のシェア（離島を除く10の空港の中で）をもつ。1時間当たりの離発着回数増(36→42)や夜間便への拡大を進めているが、札幌や道央圏主要温泉地の宿泊施設も飽和状況(本年4月の外国人客比率50%)に近づいており、昨年実績154万人からの倍増は戦略的に各地方に割り付けることなくしては不可能。
- 地方の振興を行うには、具体的な目標値を共有し、それを元に戦略的な取り組み(**地方空港や二次交通の強化・コンテンツの再構築**など)を行っていくことが必要。

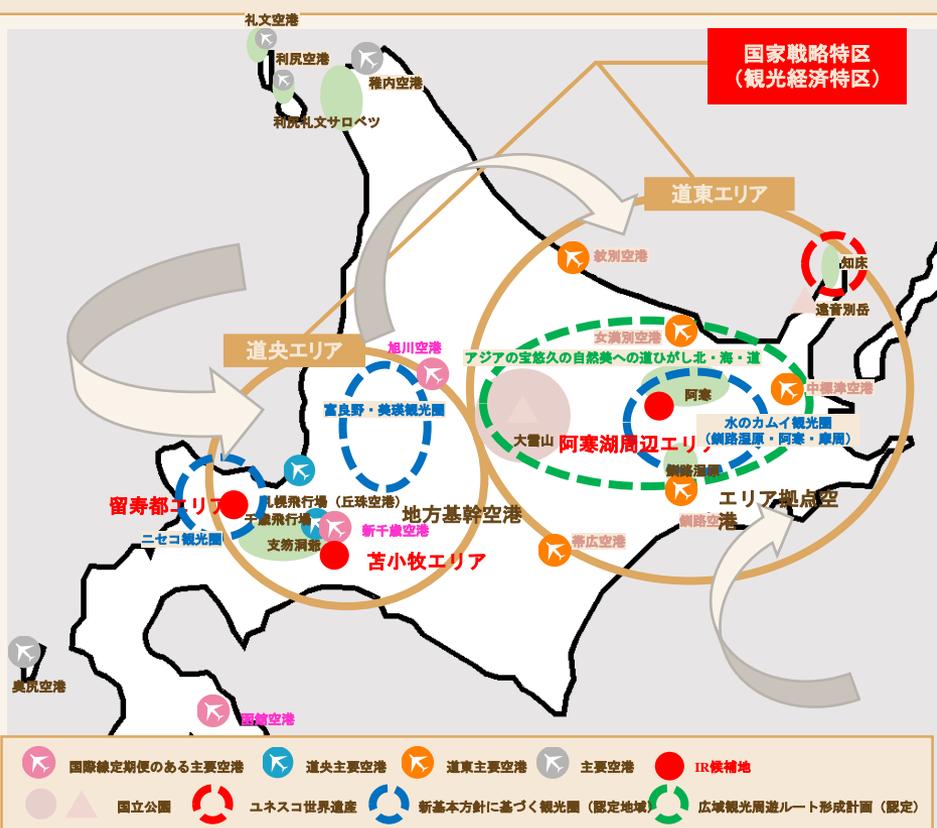
# ■ 北海道地方創生への提言 2

＜**エリア拠点空港の必要性**> 基幹空港(中心都市)から遠く、陸上では長時間移動になる地方空港の中にエリア拠点空港を選定し、離島航空路線の補助と同様な見地から、

基本インフラを整備する必要がある。

- 例えば、**東北海道拠点空港**
- 東北海道は九州と同じ大きさがあり、釧路・女満別・帯広・中標津・紋別と5空港がある。千歳→釧路・女満別は那覇→宮古島とほぼ同距離であり、陸路では長距離貸切バスの規制が大きな障害となっているが、エリア拠点空港を中心とした中距離の二次交通ネットワークにより解消できる。
- 「**地方都市各々の空港**」という考え方から「**地方エリアの核となる拠点空港**」という考え方に転換する必要がある。拠点空港に必要な、CIQ拠点やLCCターミナル・低価格なディアイシング設備・し尿処理設備などをエリア内の全ての地方空港に整備することは難しく、地域の事情の中で合意が難しければ、**一定の選抜基準に基づく競争**を経てでも東北海道拠点空港が必要であり、国の強力なイニシアチブを期待する。

# 地方型 IR導入による観光活性化と地方創生ビジョン 提言 3



- 太古の自然とアイヌ文化、豊富な観光資源を有する道東エリアと基幹空港を擁し国際拠点機能を持つ道央エリア
- 2地域を結び訪日客数の増加と消費金額増による観光活性化で地方創生

《一人当たり消費金額が高額な良質の外国人観光客を誘致》  
 多額な内需をもたらすビジネスエグゼクティブ(MICE/ビジネスツーリズム)と富裕層(ラグジュアリーツーリズム)を取り込み、政府の600兆円GDP達成に貢献する。

## 1 地方型IR(Integrated Resorts)による地方振興

○ 地方活性化の大きなポイントは訪日外国人、それも消費額の大きい旅行者の誘客である。IRは都市型の大規模施設が目立ちはるが、**地域経済に国内外からの投資を呼び込み、税投入なく国際観光による自立した地域経済を実現することが重要と考える。**さらに地方の雇用を創出する。(特に若者層の雇用にベストマッチし都市部への人口流出を抑制する)

○ IRは地域の観光産業の季節変動を平準化して、夜のエンターテインメントの提供により滞在日数を増加させる。

○ 日本のIRにおけるゲーミング部門売上予想は年間2~3兆円。(Las VegasではGamingはIR全体売上のうち約3割)  
 IR開発の初期投資2~3兆円。インバウンド4,500万円達成時の観光消費金額はとIR直接売上、IRの経済波及効果を合わせると10兆円を大きく上回りGDP100兆円の積み増しに大きく貢献する。

○ IRのゲーミング部門に外形で課されるカジノ税を地方の独自財源として活用して、地域の重要な観光資源でもある自然保護の財源としても活用する。

## 2 国家戦略特区を活用した広域観光動線整備

○ 面積の広大な行政区域においては、基幹空港周辺と遠隔観光地に国際水準のリゾートを整備し、地方創生ビジョンに基づいて空路、海路、高速道路を観光動線として再構築する。

例えば、北海道では道央(苫小牧・留寿都等)と道東(釧路阿寒湖等)を国際観光戦略特区に指定して連携させ、広域観光動線を整備する。